

Aグループ 将来の夢・未来の私

高知丸の内高等学校 2年 佐野 伶武 / 高知中央高等学校 2年 島本 育弥
高知小津高等学校 2年 太内 秀洋 / 高知大学教育学部 附属特別支援学校 3年 和田 木の実 / ファシリテーター 橋詰 拓尚



私たちは、「将来の夢・未来の私」というテーマで話し合いました。

その中で2つの軸が見えてきました。一つ目は「自分のため」と「みんなのため」を対称とし、二つ目は「近い未来」と「遠い未来」を対称に捉えて、グラフを作りました。

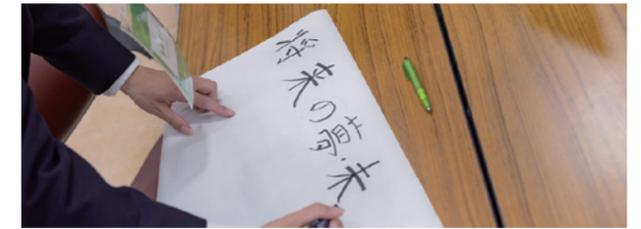
最初に、「自分のため」と「近い未来」についてです。私たちは学生でもあるので、大学に進むということが近い未来にあると思います。また、自分の好きなことをしたり、個性を伸ばすことは、自分のためであり、近い未来にも該当すると考えました。

「みんなのため」「近い未来」については、自分が好きなことをしたあとに、みんなのために今後どうしたいかということです。例えば、文科省に入ったり、親孝行をしたり、旅行に連れて行ったりするということです。



次に「自分のため」の中でも「遠い未来」という象限ですが、ここでは、海外で働いてみたい、外国に行ってみる、博識な人になるなど、少し時間がかかる内容が挙がりました。

「遠い未来」には、将来なりたい夢を実現するために頑張ったり、有名人になるなどもあります。



最後にまとめです。

夢を実現するためには、マーシーさんの講演にもあったように、挑戦をし続けることが大事なのではないかと思いました。夢は時間という1つの軸でつながっていて、それを叶えるためには、まわりの支援が必要になります。

近い、遠い、自分のため、みんなのためというように対称に書かれていますが、自分の近い未来のために学ぶことで遠い未来、地域みんなのために貢献するというように、対立のように見えて、実は大きな塊の1つの中にあるのではないかなというところに着地しました。

